



公益財団法人

産業医学振興財団

The Occupational Health Promotion Foundation

「産業医学」と産業医の役割

◆「産業医学」とは？

働く人々には古くから職場環境や作業形態による職業病や作業関連疾患など、様々な健康問題が発生してきました。近年においてもオフィスの情報化、高齢化、新たな化学物質、メンタルヘルス対策など、職場には働く人々の健康に関する環境の変化が次々と起こっています。

「産業医学」は、健康問題を取り扱う医学の一分野です。疾病の原因探求などの基礎的研究から、働く人々の疾病予防や健康の保持増進などの実践活動まで、幅広い活動が含まれています。

◆産業医は5つの職務を基本に各々の職場にあわせ労働衛生管理を進めます。

常時50名以上の労働者を使用する事業場に対し、「労働安全衛生法」では産業医の選任を義務付けています。

産業医は、衛生管理者や産業看護職など各職場の産業保健チームのリーダーとして、快適な職場環境づくりを推進します。

その仕事は、総括管理、健康管理、作業管理、作業環境管理、労働衛生教育の5つです。産業医は職場の健康を守る“企業のかかりつけ医”です。

総括管理

健康管理

作業管理

作業環境管理

労働衛生教育



公益財団法人

産業医学振興財団

The Occupational Health Promotion Foundation

産業医を育成し、産業医学の振興を図る幅広い活動を推進します。

公益財団法人産業医学振興財団は、設立以来産業医学情報の提供、産業医活動への支援、研修の実施、調査研究への助成など、産業医学の振興を図る幅広い事業を展開しています。当財団は、こうした事業を着実にを行い、新しい課題にも積極的に取り組み、産業医学の振興と、働く人々の健康管理の一層の充実を図っていきます。



財団略史

昭和52年12月	財団法人産業医学振興財団設立
昭和53年8月	産業医・産業歯科医研修委託事業開始
昭和53年9月	産業医学ジャーナル創刊（令和5年よりJ-stageに移行）
昭和54年7月	第1回産業医活動推進全国会議開催
昭和60年4月	産業医科大学から修学資金貸与業務が移管となる
昭和63年8月	産業医学レビュー創刊（令和2年よりJ-stageに移行）
平成10年4月	産業医学振興財団ホームページの開設
平成14年12月	「産業医学専門講習会」開始
平成15年4月	「産業保健実践講習会」開始
平成24年4月	公益財団法人へ移行

産業医科大学への助成

わが国唯一の専門教育機関、産業医科大学の運営を支援しています。

産業医科大学は、産業保健分野における指導的人材の育成と産業医学の進歩のため、昭和53年に北九州に開学した、我が国唯一の専門的な産業医学の研究教育機関です。

当財団では同大学への助成を通じて、明日の産業医他産業保健スタッフの育成に貢献。卒業生は、全国各地で産業保健専門職として活躍しています。



修学資金貸与事業

産業医学関係者を育てるため、学びの資金をサポートします。

優れた産業医、産業保健スタッフを育成し、社会への輩出を通じて、産業医学の振興と職場における労働者の健康確保を図るため、産業医科大学の学生に対して修学資金を貸与し、学びを経済的に支援しています。

修学資金制度は、産業医科大学卒業後、産業医、産業保健スタッフ等の職務に一定期間勤務することによって全額返還免除とする制度です。

開学以来多くの学生がこの制度を利用し、卒業後、産業医等の職務に就き、労働者の健康保持増進に寄与しています。



研修・講習事業

産業医学の新しい情報や知識の習得を目的に研修・講習事業を実施

◆当財団主催の講習会

産業医学専門講習会

日本医医師会認定産業医の資格更新に必要な生涯研修20単位が取得可能な講習会です。
(年に2回、東京と大阪で開催)

産業保健実践講習会

認定産業資格更新のために必要な生涯研修6単位が取得可能な講習会です。
(年に6回程度全国主要都市で開催)

◆都道府県医師会への委託

産業医活動に関連する法令改正や指針など情勢の変化に対応した新たな知識、専門的知識と応用力、実技の能力の向上を図る研修を都道府県医師会に委託し実施しています。



産業医学情報提供事業

最新かつ現場に根ざした 産業医学の情報発信

◆産業医学関連図書

産業医学の理解を深めるため、専門情報誌「産業医学ジャーナル」をオープンアクセス（J-STAGE）で公開しています。

また、産業医学関連図書として「産業医の職務Q&A」等を刊行し、最新の産業保健情報を提供しています。

◆ホームページを通じた広報

ホームページでは、産業医実務のための基本情報や講習会の受付、図書の申込などのコンテンツを用意しています。



調査研究事業

産業医学の未来を支える 調査研究事業

産業医学に関する調査研究の助成希望者を公募、選定し、働く人々の健康確保の充実に向けた研究を一般研究として促進しています。

また、中小規模事業場の健康管理を推進するために、当財団が設定したテーマについて公募により特別研究を実施しています。

調査研究結果は、冊子、ホームページ等により広く情報提供を行っています。

産業保健活動推進全国会議

全国の産業保健関係者が一堂に会し、事例報告・情報交流を実施

全国レベルでの産業保健活動の活性化を図るため、毎年度、厚生労働省、日本医師会、労働者健康安全機構と当財団の共催により産業保健活動推進全国会議を開催しています。

参加者は都道府県医師会、地域産業保健センター、産業保健総合支援センター等の代表者で、各地域での産業保健活動の事例発表や、関連情報をめぐっての活発な意見交換を行っています。





JR山手線・中央線・京浜東北線「神田」駅 北口 徒歩5分 / 東京
メトロ銀座線「神田」駅 4番出口 徒歩5分 / 東京メトロ丸の内線
「淡路町」駅 A2・A4出口 徒歩5分 / 都営新宿線「小川町」駅
A4出口 徒歩5分

公益財団法人 産業医学振興財団

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2-11 新倉ビル3F

TEL 03-3525-8291 FAX 03-5209-1020

<https://www.zsisz.or.jp>